

第33回

武蔵野文学賞

芥川賞作家 三田誠広、町田康のほか、
数多くの受賞歴がある歌人・俳人などが
選考委員を務めます

自分と向き合い、
浮かんだことを
書いてみよう。



高校生部門

募集期間 2025年7月1日(火)～8月31日(日)

応募資格 高校生・大学受験生

※全国高等学校及びそれに準ずる学校に在学中の方(高等学校卒業程度認定試験合格者も含む)

募集概要

小説部門

応募規定 400字詰め原稿用紙20～50枚(20字×400～1,000行)程度
ジャンル・テーマ不問

賞・副賞
▶最優秀賞1篇(副賞 5万円)
▶審査員特別賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 各1万円)

土岐善麿短歌賞

※短歌部門は、本学文学部の初代主任教授である
歌人・土岐善麿にちなみ「土岐善麿短歌賞」として設定されます。

応募規定
①1首単独の部
②連作の部
10～20首程度で構成された一連の作品

賞・副賞
①1首単独の部
▶最優秀賞1首(副賞 1万円)
▶優秀賞2首以内(副賞 図書カード各3千円)
▶佳作5～10首程度(副賞 なし)
②連作の部
▶最優秀賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 図書カード各5千円)

俳句部門

応募規定
①1句単独の部
②複数句の部
10～20句程度で構成された一連の作品

賞・副賞
①1句単独の部
▶最優秀賞1句(副賞 1万円)
▶優秀賞2句以内(副賞 図書カード各3千円)
▶佳作5～10句程度(副賞 なし)
②複数句の部
▶最優秀賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 図書カード各5千円)

評論部門

応募規定 以下①、②ともに400字詰め原稿用紙10～25枚
(20字×200～500行)程度

①武蔵野の部
「武蔵野」という言葉が登場する作品についての評論
②自由の部
日本語・日本文学、日本文化に関する評論

賞・副賞
①、②ともに
▶最優秀賞1篇(副賞 5万円)
▶審査員特別賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 各1万円)

詩部門

応募規定 20～60行程度の詩作品

賞・副賞
▶最優秀賞1篇(副賞 1万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 図書カード各3千円)

結果発表

2025年11月中旬
本学ホームページにて発表

授賞式

2025年12月中旬(予定)
オンラインにて実施

詳細は
こちらから



お問い合わせ

武蔵野大学 入試センター
武蔵野文学賞「高校生部門」担当

TEL 03-5530-7300
E-mail: nyushi@musashino-u.ac.jp

選考委員

小説部門



み た ま さ ひ ろ
三田 誠広

(作家・本学 名誉教授)

生きづらい世の中です。そうであっても、いきなりファンタジーに逃げないください。目の前の現実をしっかりと見つめて、その現実を乗り越えていく新たな冒険物語でもいいし、やむなく現実から逃避していく悲しい物語でもいいのですが、出発点となる現実がきっちり描かれていれば、作品は安定します。いまの時代の高校生が見つめる現実。それはまだ誰も書いていない、新しい文学です。そのような新鮮な文学を期待しています。

小説部門



ま ち だ こ う
町田 康

(作家・本学 教授)

小説に決まりはなく、おもしろければなにをどう書こうとかまいません。思いを自由に羽ばたかせて物語ってみてください。

俳句部門



い の う え ひ ろ こ
井上 弘美

(俳人・本学 客員教授)

高校生を対象とする武蔵野文学賞【俳句部門】では、1句単独での応募に加えて、複数の俳句で構成された作品を募集しています。何れも、全ての入賞作品に丁寧な選評、鑑賞文を付して作品集に掲載します。作品は、どのような言葉で評価されるかが大切で、それが作者には励みになり、次の可能性へと繋がるのです。本部門では選考委員一同、高校生の皆さんの清新な作品をお待ちしています。

土岐善磨 短歌賞



は や し あ ま り
林 あまり

(歌人・本学 講師)

短歌は、なんにもいりません。砂に指で書いても短歌はできます。紙に書けば、賞に応募もできます。日々の生活で思ったままを書いてほしいし、壮大な作り話を書いてほしいのです。私は主人公とお話を考えてつくるタイプです。皆さまのご応募をお待ちしております！

詩部門



撮影: 神藤 剛

ふ づ き ゆ み
文月 悠光

(詩人・本学 客員准教授)

自由詩には厳格なルールはありません。極論、語り手は人でなくても構わないのです。身近な道具、動物、空や海などから視点を借りて自由に語り始めることができます。その自由さが詩の魅力です。自分以外の何者かになりきることで解き放たれる。あるいは言葉によって自分自身に向き合い、小さな「気づき」を得る。世界が少し違って見えてくるでしょう。あなたが心から「これこそが自分の詩だ」と言えるような、そんな力強い作品をお待ちしています。

宮川 健郎

(作家・本学 名誉教授)

小説部門

土屋 忍

(本学 教授)

小説部門

楊逸

(作家・本学 客員教授)

小説部門

三浦 一朗

(本学 教授)

俳句部門

堀切 克洋

(俳人・本学 教授)

俳句部門

寺井 龍哉

(歌人・本学 講師)

土岐善磨 短歌賞

河路 由佳

(歌人・本学 日本文学研究所研究員)

土岐善磨 短歌賞

横山 未来子

(歌人)

土岐善磨 短歌賞

